

アシナガバチとミツバチ

草木に集まるハチ

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

発生  多い 

アシナガバチ・ミツバチは、樹木や庭木の害虫駆除や受粉で活躍する益虫ですが、びっくりさせると人を攻撃します。

生態

アシナガバチには、フタモンアシナガバチ、コアシナガバチがありますが、軒下、生垣、樹木等様々な場所に巣をつくります。スズメバチほど攻撃性は強くありませんが、うっかり触ったり、巣にいたずらをするると刺されます。

特に盛夏から初秋にかけてハチの数が増え、洗たく物と一緒に取り込まれたりします。

ミツバチには、セイヨウミツバチとニホンミツバチがありますが、つまんだりしなければ刺されることはありません。また、春の分封(女王蜂の巣分かれ)時に、街路樹等に大群をなす場合がありますが、しばらくすると条件の良い場所に移動します。

対策

ハチの被害を防ぐには、むやみに刺激したりハチの巣にいたずらをしないことです。人が刺される危険が高い場合等を除き、むやみに駆除する必要はありません。駆除方法としては、小さな巣のうちに除去するのがコツです。夜間、ハチが活動を停止している間に、蜂専用の殺虫スプレーを吹き付け、巣を取除きます。

応急処置

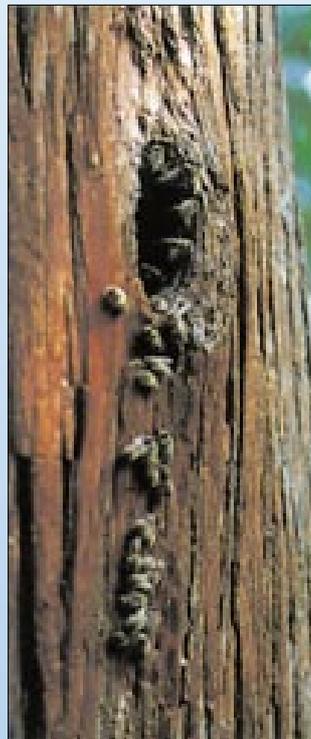
刺された部分を水でよく洗い、抗ヒスタミン軟こうを塗ります。



フタモンアシナガバチ(体長約15mm)



サッシの窓枠につくったコアシナガバチの巣(約5cm)



ニホンミツバチと樹の巣



ヨウシュミツバチと巣箱

(写真提供: 東京都)